

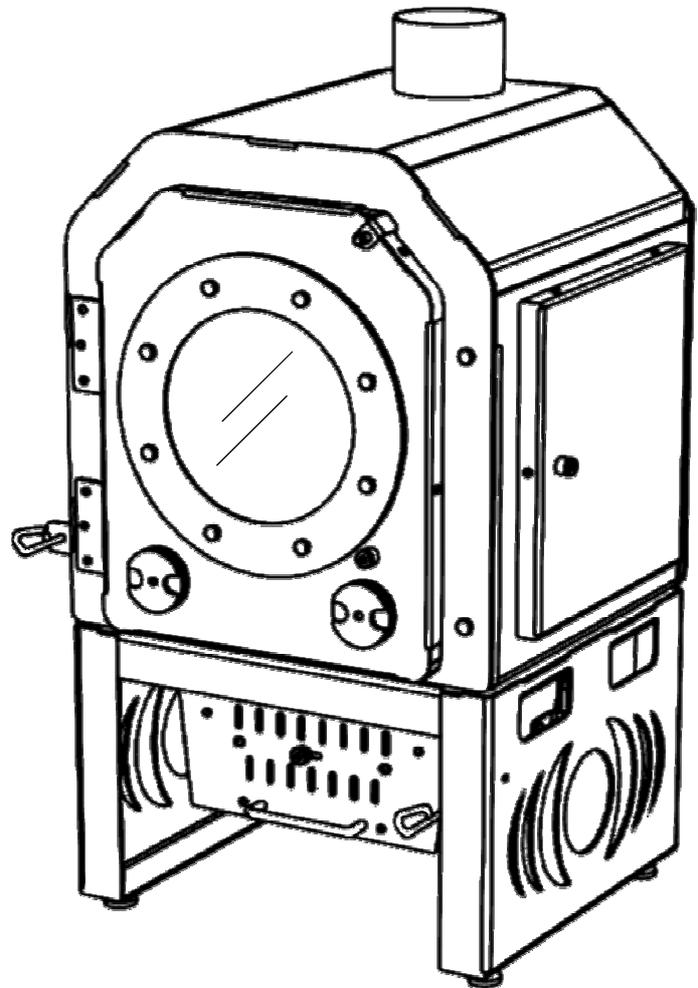
ペレット・薪兼用ストーブ

# ゆらぎ

## YFE-78

### 取扱説明書

※ この取扱説明書は大切に  
保管してください。



#### 詳細

本体サイズ：W450 x D400 x H780mm

材質：鋼板、ステンレス

重量：86kg

煙突径： $\phi$ 106mm

煙突位置：上部

燃焼方式：2次燃焼式、輻射式

使用燃料：木質ペレット、乾燥薪

最大薪長さ：400mm

ペレット容量：2.5kg

ペレット消費量：1.4~2.2kg/h

最大熱出力：約5,200kcal (MAX)

暖房面積：15~20坪

付属品：ストーブ温度計

生産国：日本

商品コード：12400

JANコード：4934756104780

## はじめに

このたびは弊社のペレット・薪兼用ストーブ ゆらぎ YFE-78（以下YFE-78またはストーブ）をご購入いただきまして誠にありがとうございます。

ご使用前には必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、安全・快適なストーブライフをお楽しみください。

また、この取扱説明書にはストーブを末長くご使用いただくために重要な情報が記載されております。取扱説明書は大切に保管してください。

### ■ 取扱説明書内の表示について

 <b>警告</b>	この表示は、記載事項をお守りいただかない場合、火災の危険性、死亡または重傷を負う危険性が想定されることを示します。
 <b>注意</b>	この表示は、記載事項をお守りいただかない場合、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定されることを示します。
	この表示は、禁止されていることを示します。
	この表示は、必ず守っていただきたいことを示します。
	この表示は、取扱や補足説明を示します。



# 目次

はじめに	2
目次 (本ページ)	3
取扱い上のご注意	4
各部の名称	6
ストーブの操作と焚き方	8
ストーブの操作と焚き方(薪)	14
正しいY F E - 7 8の設置	17
正しい煙突の設置	20
メンテナンスと点検	22
煙突掃除	22
燃焼灰の処理	24
耐熱ガラスのクリーニング	25
部品交換の方法	26
困ったときのQ & A (取扱い全般)	28
困ったときのQ & A (ペレット使用時)	32
困ったときのQ & A (薪使用時)	33



## 取扱い上のご注意



### 警告



ストーブ・煙突の近くにスプレー缶やガソリントank、消火器等、破裂・爆発・引火のおそれがあるものは絶対に置かないでください。爆発や火災の原因になります。



ストーブ・煙突に水等の液体をかけたり、紙や衣類等の可燃物を乗せないでください。  
ストーブ・煙突に紙や衣類等の可燃物が接触する可能性がある状況を作らないでください。  
火災の原因になります。



木質ペレットと薪以外の燃料使用禁止。(薪 … 焚き火用に用意された木、枝、木材のこと)  
異常燃焼による故障や火災の原因になります。



ストーブの使用時、ストーブの扉を開けたままその場を離れないでください。



地震の災害発生時には、余震がおさまるまでは使用を差し控えてください。



ストーブの使用時、ストーブや煙突を移動させないでください。



燃焼灰は可燃性の容器に入れないでください。



燃焼中のペレットや薪をストーブから取り出さないでください。



次の場所では、ストーブを使用しないでください。火災・不完全燃焼・故障の原因になります。  
水平でない場所、不安定な場所、振動の激しい場所、十分な換気が行えない場所、ほこり・湿気・金属粉の多い場所、低気圧の環境(標高1000m以上の高地)、スプレーや化学薬品を使う場所



ストーブは必ず煙突の設置を行ってください。  
煙突は設置基準や法令を遵守して適切に設置してください。



ストーブや煙突周りの可燃物とは十分な離隔を設け、高温にならないよう適切に遮熱を行ってください。  
遮熱が不十分な場合、火災の原因になります。(参考：P.18~20)



定期的に煙突掃除を行ってください。高所作業になる場合は命綱を装着する等安全には十分注意してください。煙突がスヤタールで詰まると、不完全燃焼や煙道火災を引き起こす危険性があります。



ストーブ使用中は付属の温度計を用いてストーブ等の温度を監視してください。



ストーブ使用中は、換気せずに使用を続けしないでください。窓や戸を2箇所以上開けて1時間に1~2回(1~2分)換気してください。酸素が不足すると、不完全燃焼を引き起こす危険性があります。

## 注意

-  脂分（ヤニ）を多く含む薪は使用しないでください。  
ストーブや煙突を傷めたり、ススやタールが発生する原因になります。
-  湿ったペレットや薪は使用しないでください。  
ススやタールが発生する原因になります。
-  塩分、硫黄、接着剤等金属の腐食成分を含む薪の使用禁止。  
製品破損や健康を害する原因になります。  
(例：流木、海岸防風林、硫黄消毒された木、集成材、合板、防腐処理材 等)
-  ストーブ使用中はストーブおよび煙突が大変熱くなります。  
素手で触れたり、身体を接触させないでください。やけどのおそれがあります。
-  初めてストーブを使用される際は、ストーブ表面の塗料が焼ける臭いがします。  
異常ではありませんので、しばらく換気しながらご使用ください。
-  就寝時、外出時はストーブが消火していることを確認してください。
-  ストーブを移動する際は、床等が傷つかないよう養生し、  
必要十分な人員または機材を用意し、安全に注意して作業を行ってください。
-  ストーブや煙突の掃除を行う際、燃焼灰やスス等が舞うおそれがあります。  
防塵用マスクやメガネ等を着用し、お部屋は適切に汚れ対策をしてください。
-  ストーブは重量のある部品や鋭利な部品で構成されています。  
作業時には軍手等を着用し、けがには十分ご注意ください。
-  小さいお子様がいらっしゃる場合は、保護者の方がお子様の安全を確保してください。  
ストーブゲート【別売】を設置する等安全策を講じてください。
-  ストーブ用の消火器を設置する場合は粉末消火器をお求めください。  
消火器はストーブの近くには置かず、十分距離を離して設置してください。
-  長期間（2ヶ月以上）ストーブを使用されない時は、ストーブ内の燃焼灰等を除去してください。  
燃焼灰等が湿気を呼び、ストーブが錆びやすくなる原因になります。

※ ご注意事項に反して生じた損害について、弊社では一切の責任を負いかねます。

※ 煙やスス等による建物その他の汚損、近隣トラブルの発生については  
弊社では責任を負いかねます。

# 各部の名称

本取扱説明書では各部の名称を用いて取扱いの説明をいたします。  
 あらかじめ名称をご確認ください。

## 正面

煙突口  $\phi$ 106mm

三次空気[上]調整ツマミ  
 左【閉】⇔右【開】

正面扉

耐熱ガラス

二次空気調整レバー  
 左【閉】⇔右【開】

三次空気[下]調整ダイヤル  
 左【開】⇔右【閉】

一次空気調整ツマミ  
 左【閉】⇔右【開】

灰出口(灰トレイ)

外気吸入調整レバー  
 左【閉】⇔右【開】

ハンドルホルダー

側面扉 遮熱板

## 背面

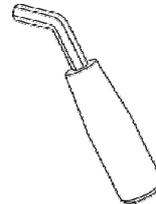
外気吸入口  
 (外気吸入ユニット:取付可)

## 付属品



### 付属温度計

ストーブや煙突の温度を測るためのバイメタル式温度計。



### 六角ハンドル

ストーブの正面扉・側面扉を開け閉めするためのハンドル。



### 取扱説明書

本紙。

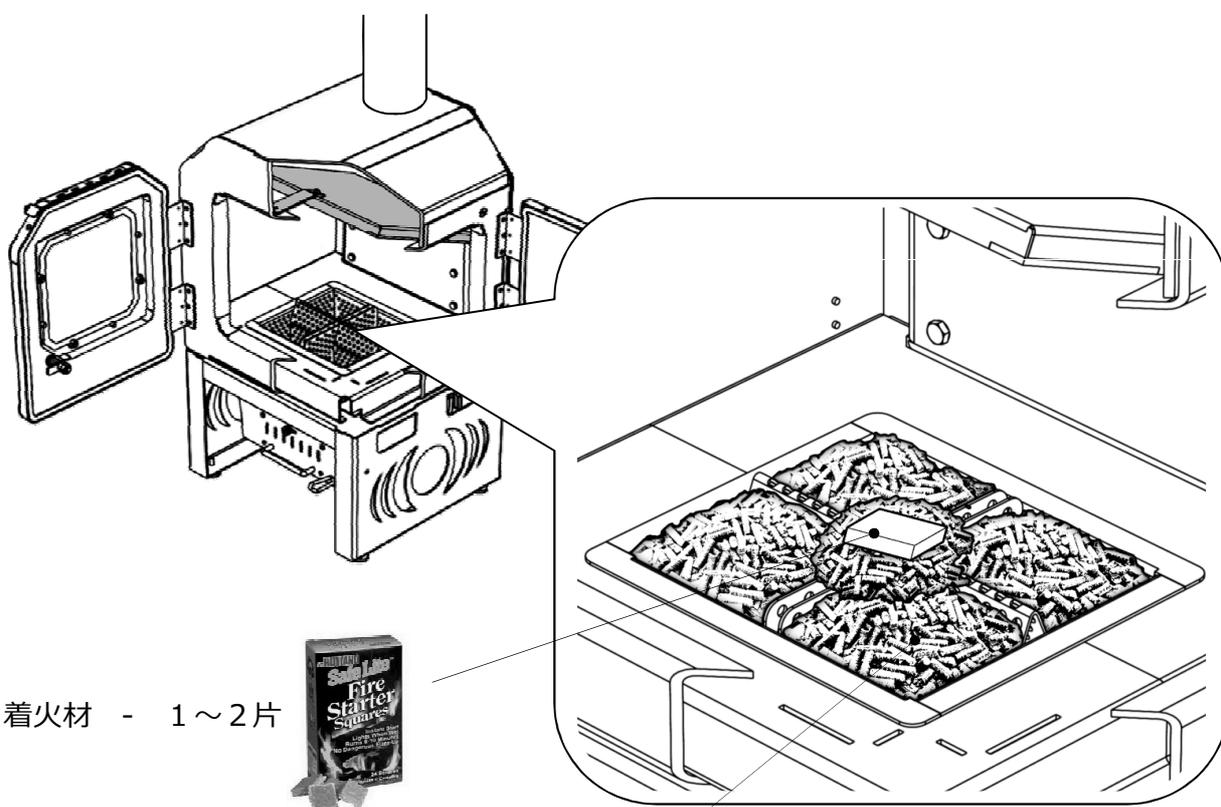


# ストーブの操作と焚き方

## STEP 1-1 ペレットのセット

ペレットを使う場合は、下記のようにお使いください。

- 1 ペレット燃焼バスケットの4区画にペレットを入れます。
- 2 ペレットに火が回りやすいようにバスケットの中心だけペレットを山盛りにします。
- 3 山盛りのペレットの上に着火剤を置きます。(1~2片)



着火材 - 1~2片

ペレット - 最大約2.5kg

※ 推奨：ホワイトペレット

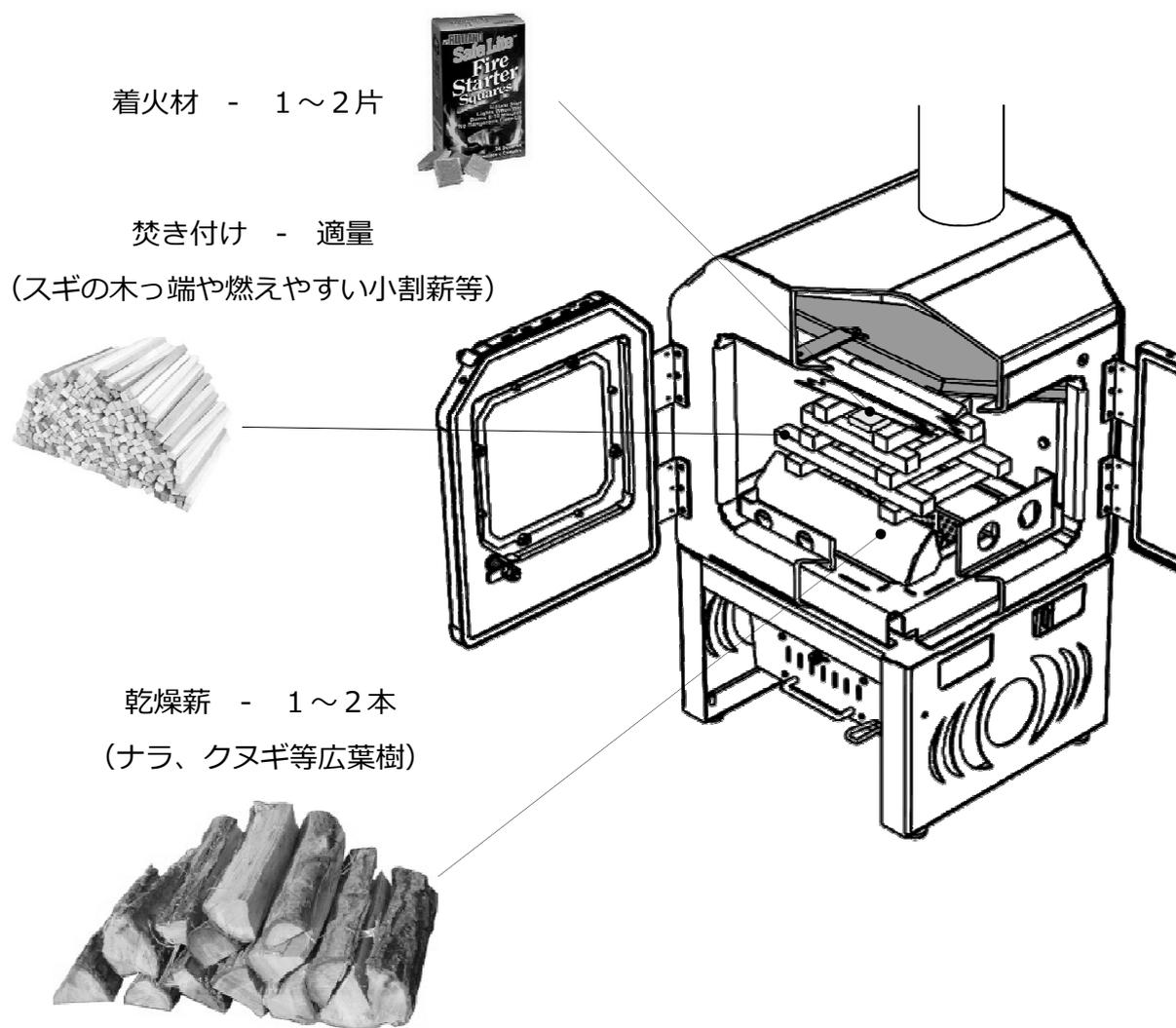


初めてストーブを使用される際は、ストーブ表面の塗料が焼ける臭いがします  
異常ではありませんので、しばらく換気しながらご使用ください

## STEP 1-2 薪のセット

薪を使う場合は、下記のようにお使いください。

- 1 まず乾燥薪を数本炉内に置きます。(1~2本)
- 2 乾燥薪の上に焚き付けを適量置きます。  
(慣れないうちは多めに入れたほうがよいでしょう。)
- 3 焚き付けの間に着火剤を置きます。(1~2片)



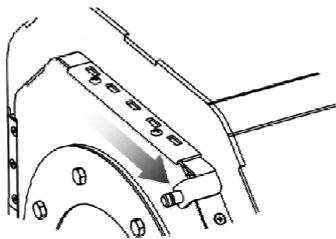
**!** 初めてストーブを使用される際は、ストーブ表面の塗料が焼ける臭いがします  
**注意** 異常ではありませんので、しばらく換気しながらご使用ください

## STEP 2 着火～安定燃焼

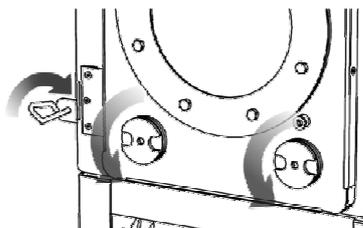
ペレットと薪の着火から安定燃焼までを説明いたします。

ストーブを操作する際は必ず皮手袋等を着用し、やけど等に十分ご注意ください。

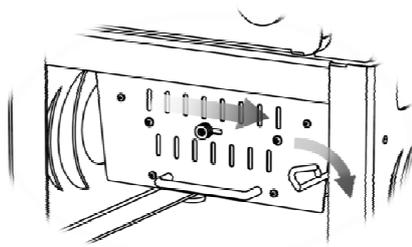
- 1 YFE-78の空気調整を行い、空気供給量を最大にしておきます。



三次空気[上]調整ツマミ【開】



二次空気調整レバー【開】  
三次空気[下]調整ダイヤル【開】



一次空気調整ツマミ【開】  
外気吸入調整レバー【開】

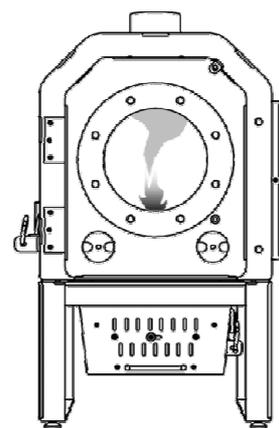
- 2 マッチ、ライター等で着火材に点火します。

着火材から炎が上がったらすみやかに扉を閉めてください。



注意

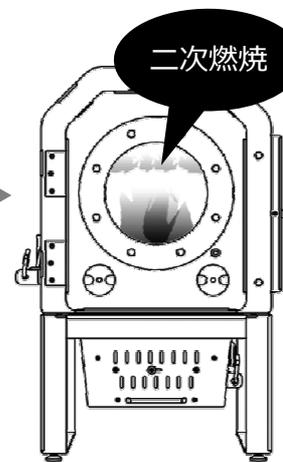
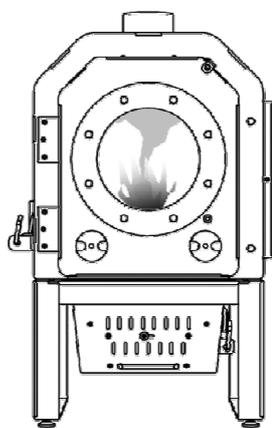
焚き始めは不完全燃焼により煙が多く発生しがちです  
むやみに扉を開閉すると煙が室内に逆流する場合があります。  
極力扉は開けないようにしましょう



- 3 炎が徐々に大きくなっていきます。

煙突が温まってくると  
上昇気流（ドラフト効果）が発生し、  
煙は自然と煙突に吸上げられるよう  
になります。

また、本体が温まると  
二次空気吹出し口付近でも  
燃焼（二次燃焼）が起こります。



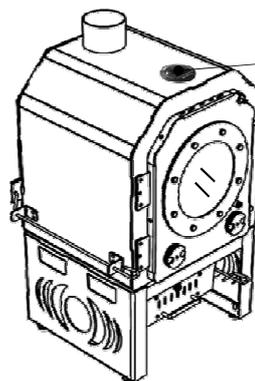
4 YFE-78付属のストーブ温度計で温度測定をします。

温度計の位置は、YFE-78本体の天板です。

温度計の針が150℃を超えて

**BURN ZONE (150~300℃)** に

到達するまで様子を見ます。



ストーブ  
温度計

5 **本体温度を150~300℃の範囲内で安定**させます。

300℃をオーバーした場合には、各空気口の操作と燃料を調整すると

本体温度の上昇を抑えます。炎がゆったりと滑らかに揺らぐ状態を維持してください。



**300℃オーバーの状態**で長時間放置しないこと

禁止

ストーブ本体や炉内部品に歪み等が発生する場合があります  
また、火災等の思わぬ事故に繋がるおそれがございます



**150℃以下の状態**で長時間放置しないこと

禁止

不完全燃焼となり、煙が多量に発生したり、ガラスが  
ススけてしまう等の問題が発生します  
また、思わぬ事故につながるおそれがございます

6 傾合いをみてペレットもしくは薪を側面扉より追加投入し、5の手順を繰り返します。



**ペレットや薪の追加投入後に空気供給量を絞り過ぎないこと**

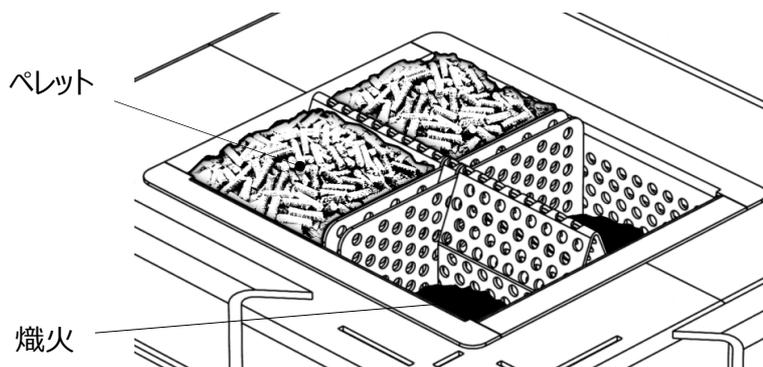
禁止

ペレットや薪の追加投入直後に空気供給量を絞り過ぎると不完全燃焼になります  
酸欠状態で不完全燃焼が続くとバックパフという瞬間的な爆発現象が起こる  
おそれがあり危険です。ご注意ください



注意

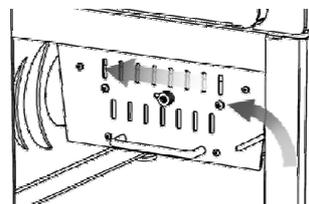
ペレットを追加する時は、  
2区画ずつ投入してください  
(バックパフの防止)



## STEP 3 長時間燃焼

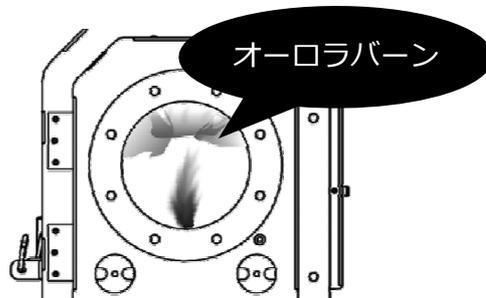
長時間燃焼するポイントは、①ペレットもしくは薪にしっかり火が回っていること、②ストーブ本体が150℃～300℃の高温になっていること、③少ない空気で燃焼させることです。

- STEP 2のとおりストーブを安定燃焼まで進めたら一次空気調整つまみ等を調節し、燃焼空気を減らしてペレットや薪から炎が出るか出ないかの位置まで空気供給量を絞ります。



一次空気調整つまみ【閉】  
外気吸入調整レバー【閉】

- 燃焼空気がほぼ二次空気のみとなることで、オーロラのように美しく漂う二次燃焼の炎が発生。いわゆるオーロラバーン状態になります。



- 燃焼状態を維持。  
温度が低下してきたら一次空気調整つまみ等で空気供給量を調整してください。

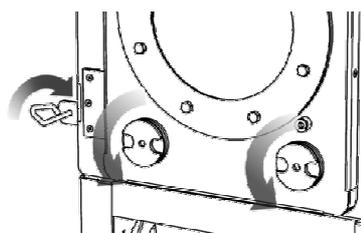
## STEP 4 消火

ストーブはエアコンやファンヒーターのようにボタン1つでの消火はできません。ペレットや薪を燃やしきることがストーブ唯一の消火方法です。

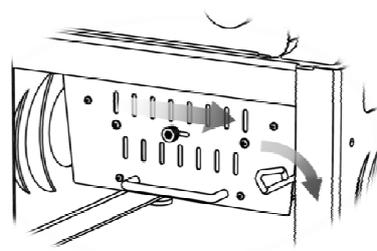
- 早く消火させたい時は、燃焼空気を最大にしてください。

**禁止** 消火のために燃焼中のペレットや薪に水を掛けないこと  
本体等破損や思わぬ事故につながるおそれがあります

**禁止** 燃焼中のペレットや薪をストーブから取り出さないこと



二次空気調整レバー【開】  
三次空気[下]調整ダイヤル【開】



一次空気調整つまみ【開】  
外気吸入調整レバー【開】

# 正しいYFE-78の設置

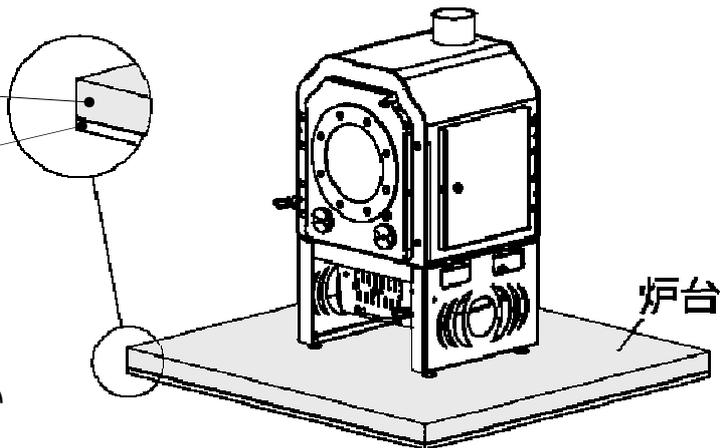
## STEP 1 炉台の設置 ※ YFE-78を可燃性の床上に設置する場合

YFE-78を可燃性の床（フローリング等）の上に直接置くことはできません。

必ず不燃材料で炉台を製作してください。

床が不燃材料（コンクリート土間等）の場合は炉台の設置は不要です。

特定不燃材料  
(レンガ、タイル等)  
不燃ボード 10mm厚以上  
(ケイカル板等)

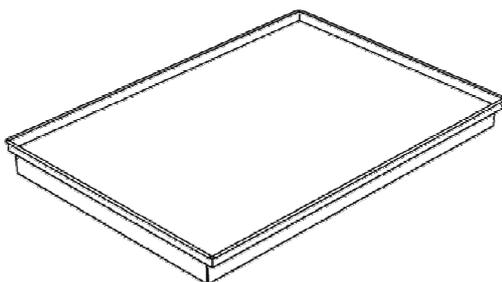


**禁止** YFE-78を  
直接可燃性の床の上に置かない

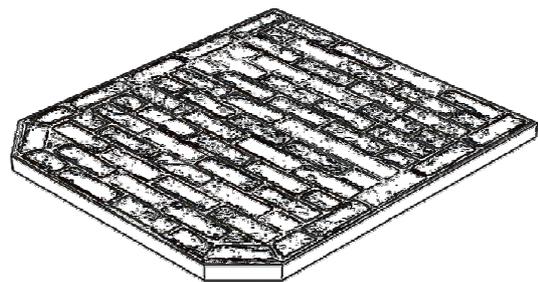
**注意** 床強度が不足しないように補強を行ってください  
床のきしみや傷みの原因になります

弊社では、炉台としてご利用いただける

既製品の ステンレスストーブ台 AS-50(別売) や ブロック炉台(別売) もご用意しております。



ステンレスストーブ台 AS-50



ブロック炉台

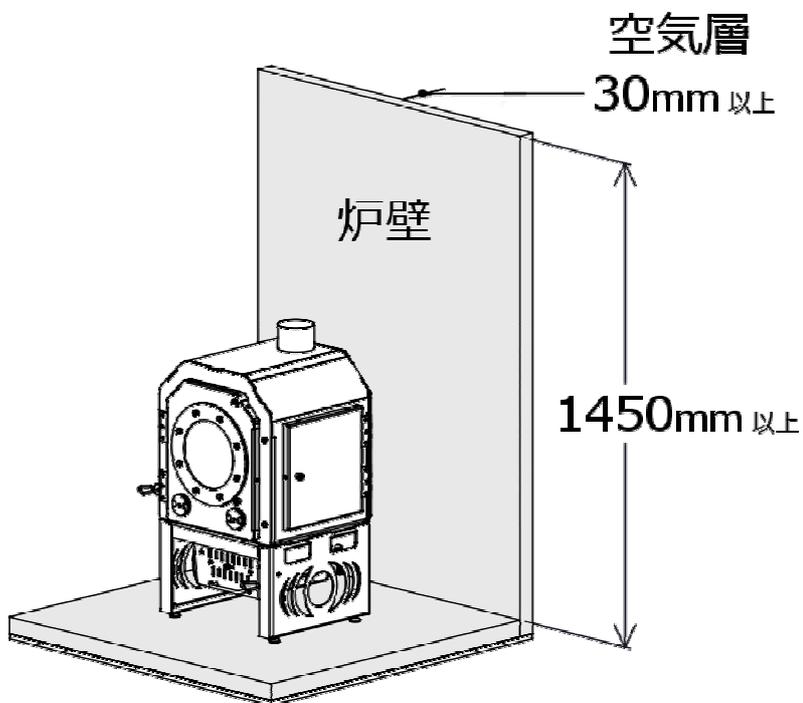


ステンレスストーブ台 AS-50 とブロック炉台 各種は  
ホンマ製作所オンラインショッピングでお求めいただけます

<http://www.honma-seisakusyo.jp>

## STEP 2 炉壁の設置 ※ YFE-78を難燃性の壁付近に設置する場合

YFE-78の背後等に炉壁を立てることで、YFE-78を難燃性の壁（一般的な木造住宅の壁）に指定距離まで近づけて設置することが可能になります。

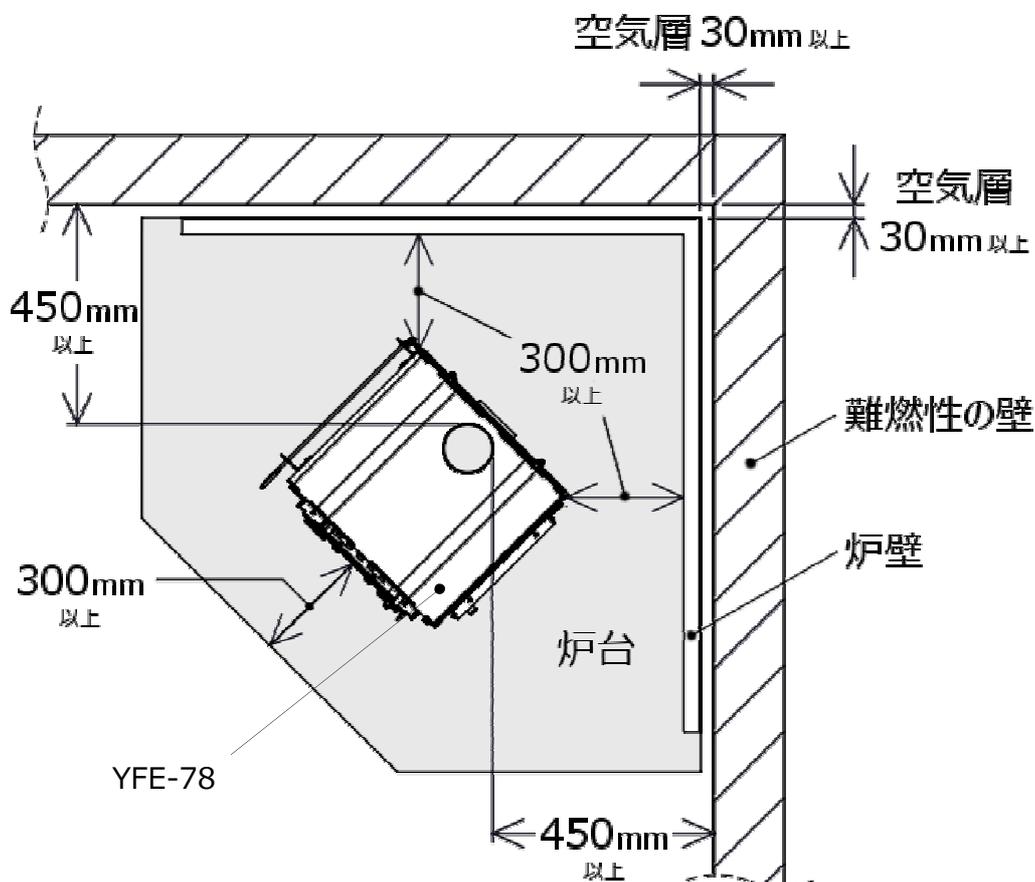
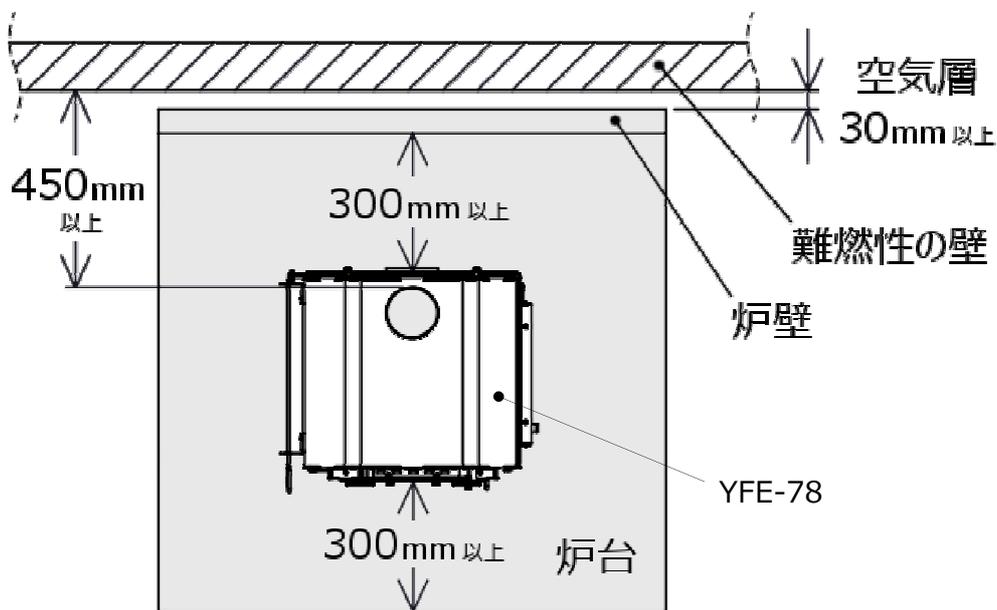


### ❗ 注意 - 炉壁の設置

- 炉壁の素材は、  
特定不燃材料(レンガ、金属板等 … ただし、アルミ、ガラスは除く) とします  
(炉壁の厚さは不問)
- 炉壁の高さ遵守
- 難燃性の壁と炉壁の間には、必ず30mm以上の空気層を設けてください
- 炉壁は、必ず安定して自立できる構造のこと

# YFE-78 (煙突位置上部) の 設置最低壁面離隔距離

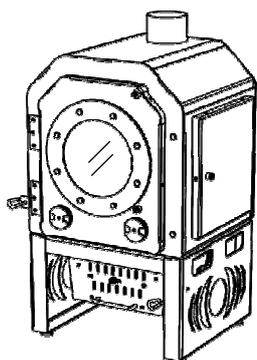
**!** 必ず指定距離以上の  
離隔を設けてください  
**注意**



### STEP 3 外気吸入ユニットの取付 ※ 室内が負圧になる場合

負圧とは … 気密性の高い部屋で換気設備等を使用することにより、  
室内の気圧が外気圧よりも低くなる現象を負圧といいます。

負圧環境でストーブを使用するとストーブ本体から煙が逆流する等のトラブルが生じます。  
外気吸入ユニット（別売）を取付けることでストーブが負圧の影響を受けにくくなります。



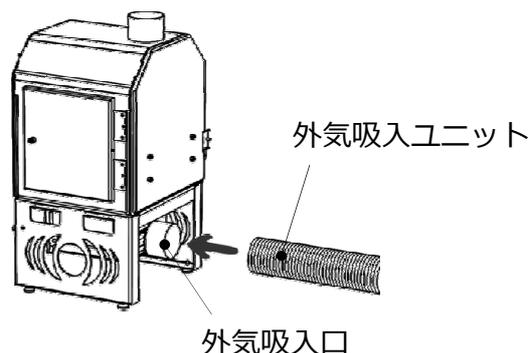
YFE-78

+



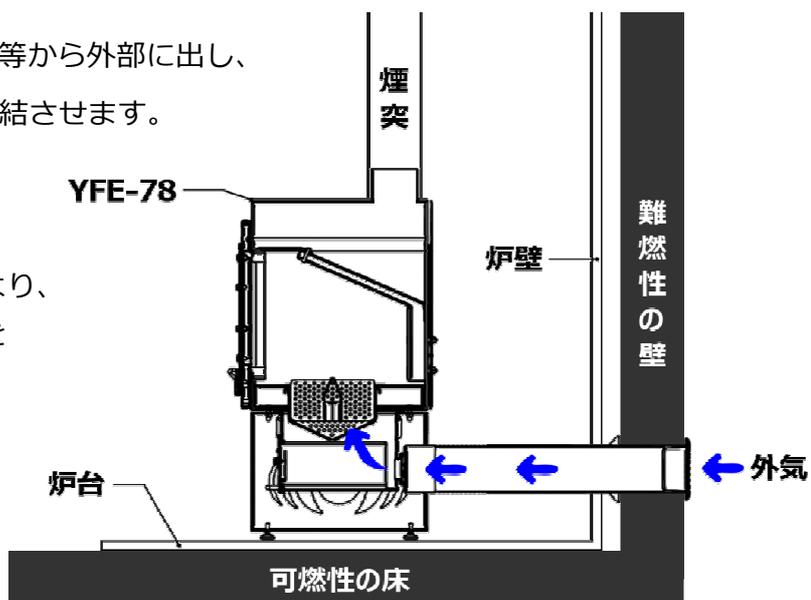
外気吸入ユニット

- 1 YFE-78背面の外気吸入口に  
外気吸入ユニットを取付けます。



- 2 外気吸入ユニットの管を壁等から外部に出し、  
ストーブの給気を外気に直結させます。

**※ 備考** ストーブの燃焼空気に  
外気を使用することにより、  
ストーブが負圧の影響を  
受けにくくなります。

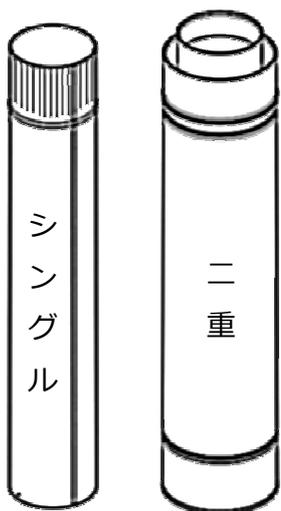


# 正しい煙突の設置

## STEP 1 使用する煙突の確認

YFE-78の使用煙突径は  $\phi 106\text{mm}$  です。（煙突・関連部材別売）

煙突は“ハゼ折り煙突”、“溶接煙突”の2種類ありますので、いずれかをお求めください。



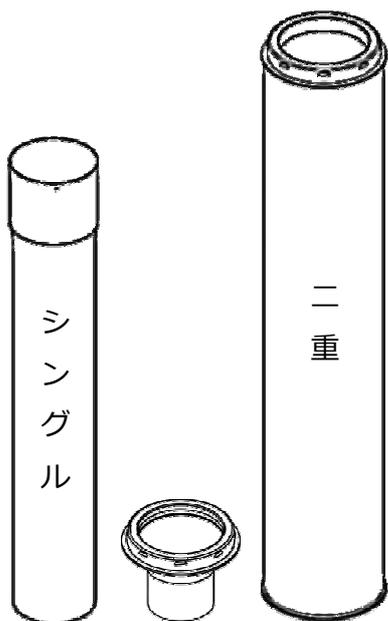
### ハゼ折り煙突

- シングル： $\phi 106\text{mm}$   
ステンレスSUS430 厚さ0.3~0.4mm  
※正差し接続
- 二重： $\phi 106\text{mm}$   
内筒・外筒/ステンレスSUS430 厚さ0.4mm  
※外径 =  $\phi 150\text{mm}$   
※空気層断熱式  
※差込み接続



注意

ハゼ折り煙突と溶接煙突は 互換性がありません  
混ぜて使用しないでください



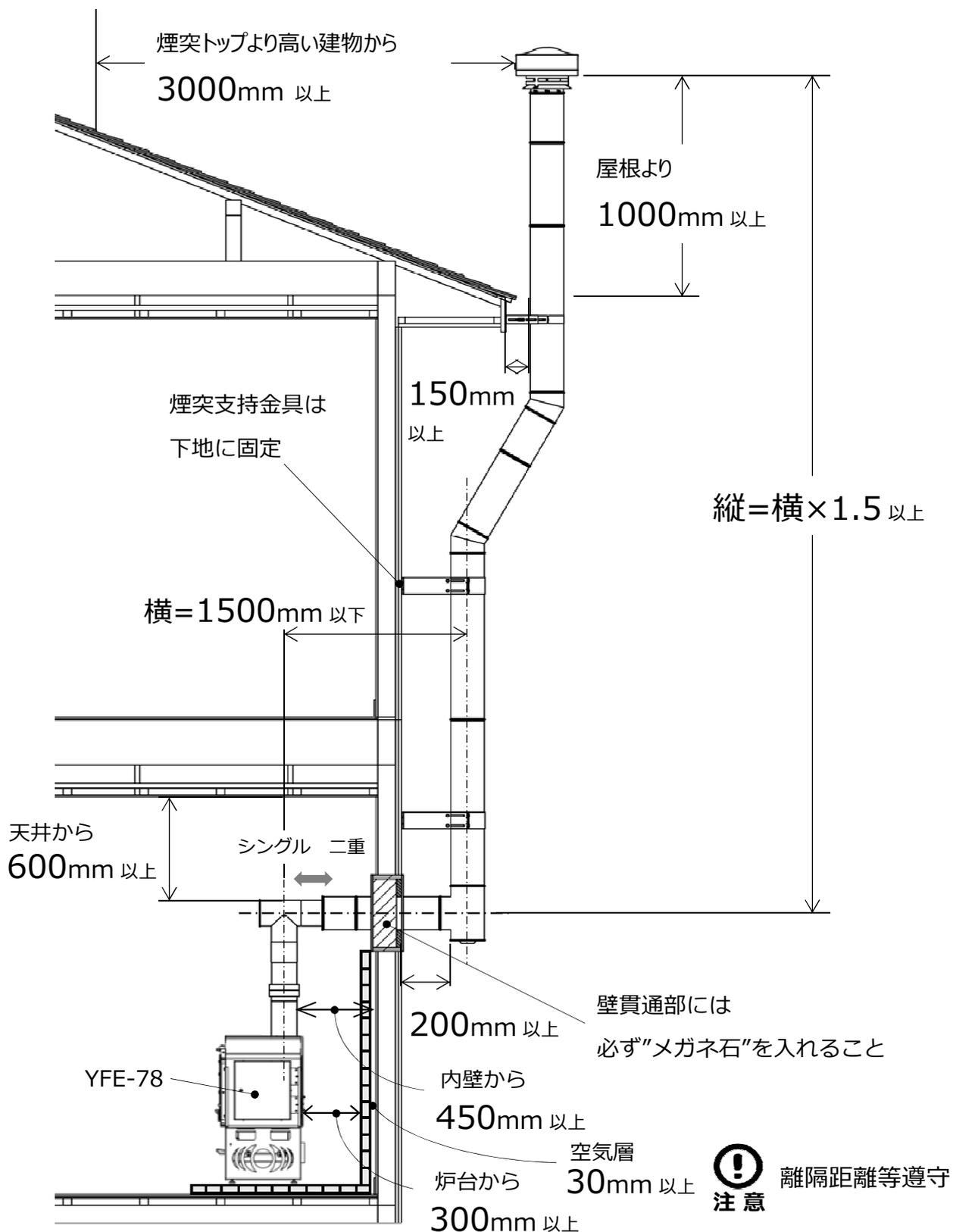
インアダプター

### 溶接煙突

- シングル： $\phi 106\text{mm}$   
ステンレスSUS304 厚さ0.5mm  
※逆差し接続（YFE-78には正差しで接続）
- 二重： $\phi 120\text{mm}$   
内筒・外筒/ステンレスSUS304 厚さ0.5mm  
※外径 =  $\phi 175\text{mm}$   
※断熱材入り  
（セラミックファイバーブランケット）  
※差込み+ロック接続  
※溶接シングル煙突 $\phi 106\text{mm}$ から  
溶接二重断熱煙突 $\phi 120\text{mm}$ に接続する際には、  
インアダプター $\phi 106\text{mm}$ 用が必要です

## STEP 2 煙突壁出し設置基準の確認

煙突は下記の基準寸法等を遵守のうえ設置を行ってください。  
お守りいただかない場合、燃焼不良、煙の逆流、火災等が起こる可能性があります。



### STEP 3 壁貫通部の工事

煙突壁貫通部には必ずメガネ石をセットし、壁内部が高温にならないよう適切に施工してください。メガネ石を用いない安易な施工は火災に繋がります。

#### 壁貫通部断面図

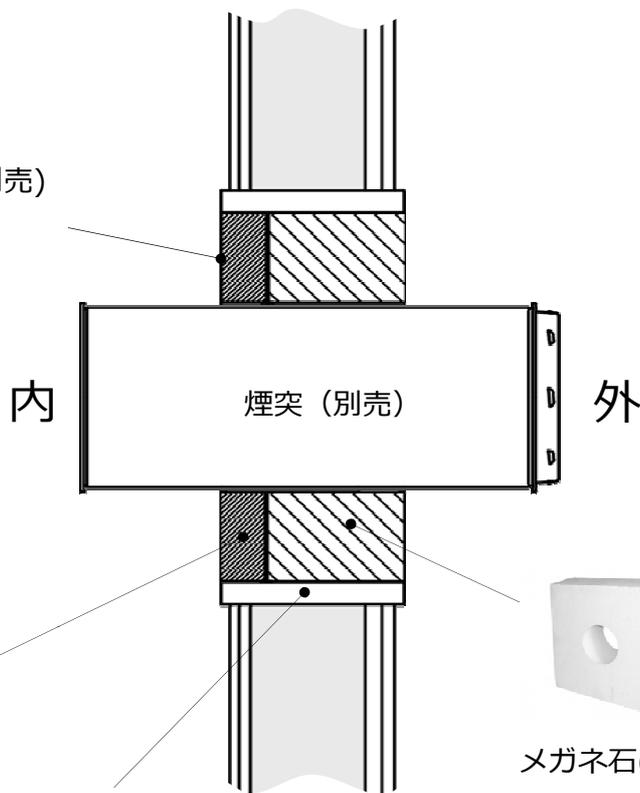


メガネ石カバー(別売)  
(内/外)

隙間が出来る場合は  
眼鏡板用断熱材(別売)  
を隙間に充填します



木枠を作る



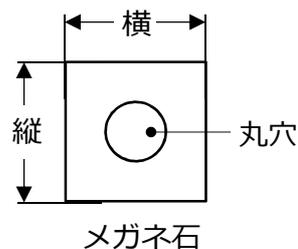
メガネ石(別売)



**メガネ石の縦横を絶対にカットしないでください**

火災の原因になります

メガネ石は安全上不可欠な縦横寸法になっております



### ⚠ 注意 - 壁貫通部の工事

- **メガネ石の厚さは壁厚以上**となるようにし、もし隙間が出来る場合は隙間部分に眼鏡板用断熱材を充填して煙突と可燃物との間を完全に埋めてください。
- メガネ石カバー周りは耐熱コーキングを施し、壁に雨水が入り込まないように適切に処理してください。
- 既存住宅に施工する場合は、壁を開口する際に構造上重要な柱や筋交い、配管・ケーブル類を切断しないよう十分にご注意ください。

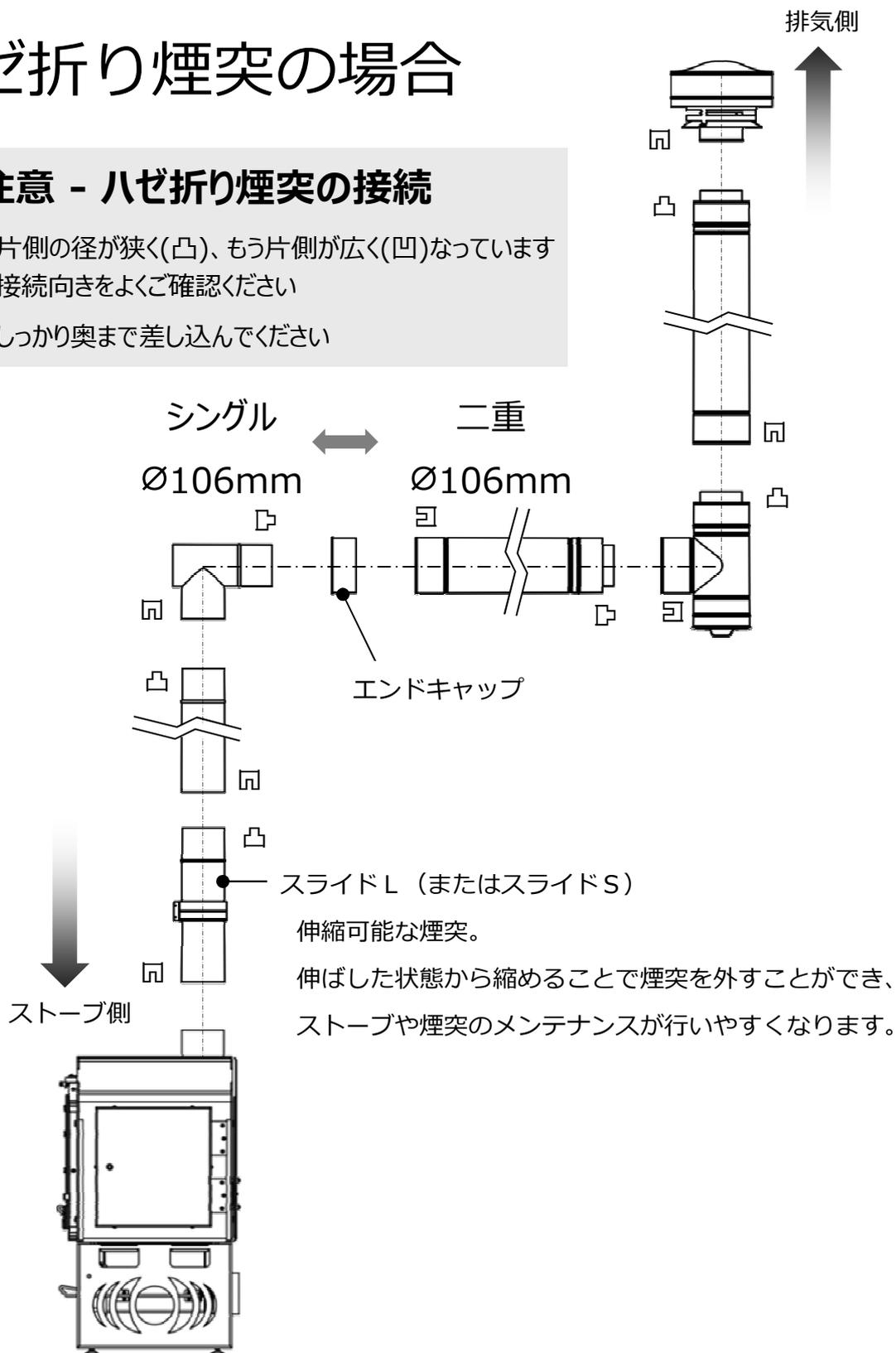
## STEP 4 煙突を設置する

煙突の接続向きを誤らないよう接続向きをご確認のうえ施工をお願いします。  
接続向きを誤ると途中で煙突が接続できない等のトラブルになります。

### ハゼ折り煙突の場合

#### ❗ 注意 - ハゼ折り煙突の接続

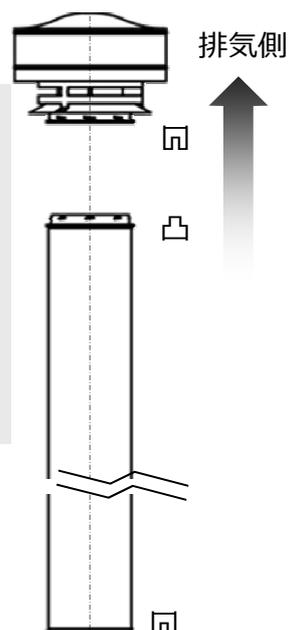
- 煙突は片側の径が狭く(凸)、もう片側が広く(凹)になっています  
煙突の接続向きをよくご確認ください
- 煙突はしっかり奥まで差し込んでください



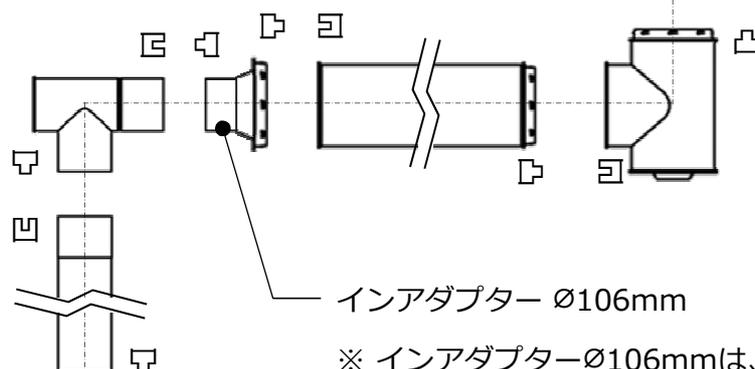
# 溶接煙突の場合

## ⚠ 注意 - 溶接煙突の接続

- 煙突は片側の径が狭く(凸)、もう片側が広く(凹)になっています  
煙突の接続向きをよくご確認ください
- 煙突はしっかり奥まで差し込んでください
- 二重煙突は接続後しっかりロックさせ、  
二重煙突の接続部には **付属のクランプバンド** を取り付けてください

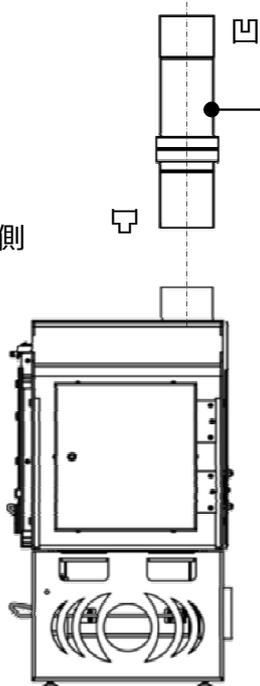


シングル ↔ 二重  
 Ø106mm      Ø120mm



インアダプター Ø106mm  
 ※ インアダプターØ106mmは、  
 二重断熱煙突Ø120mmに接続できます

↓  
 ストープ側



スーパースライド L  
 (またはスーパースライド S)

伸縮可能な煙突。  
 伸ばした状態から縮めることで煙突を外すことができ、  
 ストープや煙突のメンテナンスが行いやすくなります。

# メンテナンスと点検

## 煙突掃除

ストーブは年1回以上の煙突掃除が必須です。（掃除頻度は使用状況等によります）  
煙突内は定期的にチェックし、ススが3mm以上堆積していたら掃除をお勧めします。

- 1 煙突掃除に必要な道具を用意します。  
作業中はススが飛散する可能性がありますので汚れてもよい服装で行ってください。

**注意** 高所作業を行う際には、  
十分な安全対策を取ってください

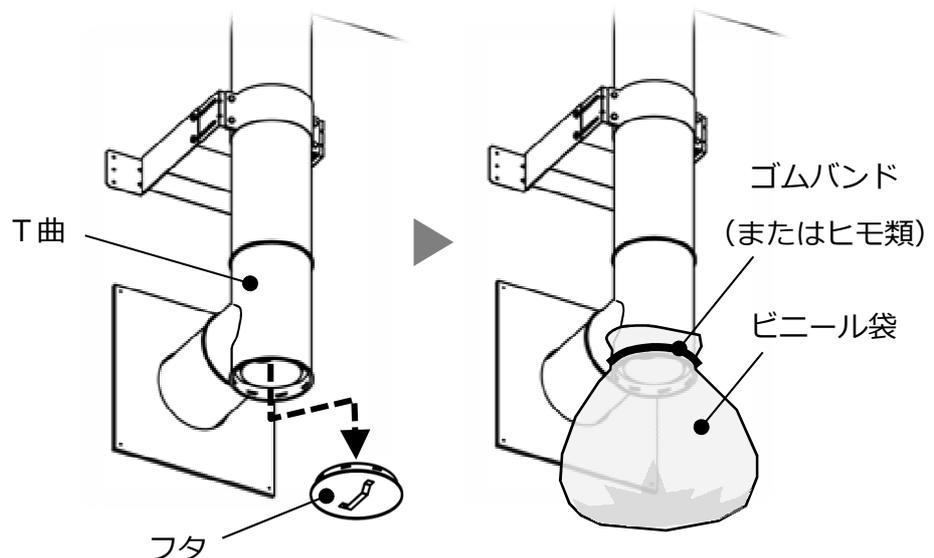


上記★印商品はホンマ製作所オンライン  
ショッピングでお求めいただけます  
<http://www.honma-seisakusyo.jp>

### 使用部品・工具・道具

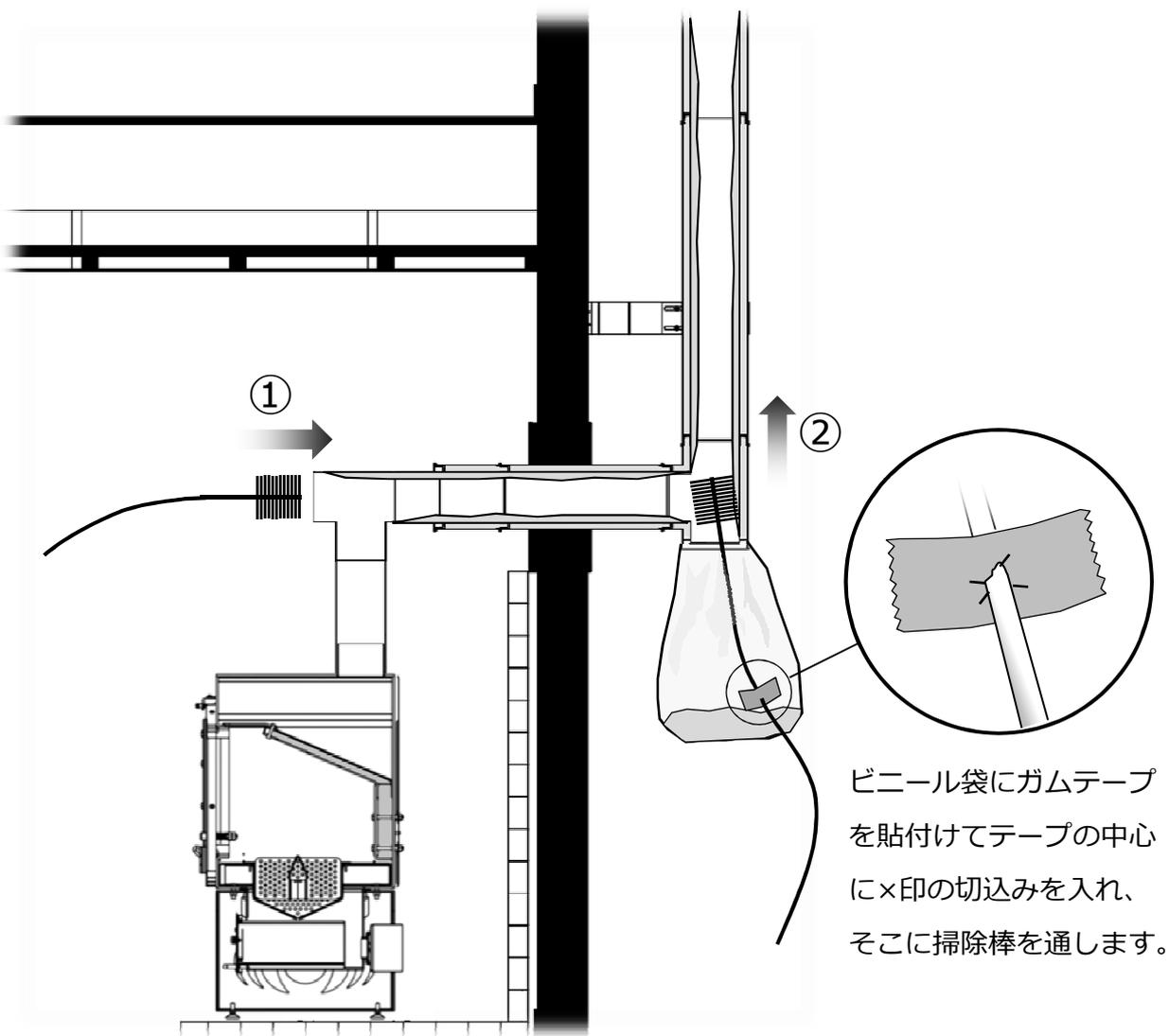
- ★ ワイヤブラシ 径106mm用
- ★ ワイヤブラシ 径120mm用  
（溶接二重煙突使用の場合）
- ★ 煙突掃除棒または煙突掃除器
- 防塵ゴーグル
- 防塵マスクまたは通常マスク
- ビニール袋
- ゴムバンドまたはヒモ類
- ハサミまたはカッター
- 新聞紙、作業シート
- 必要に応じ脚立、はしご等

- 2 屋外のT曲に付いているフタを外し、煙突にビニール袋を取付けます。  
ビニール袋はゴムバンドまたはヒモ類を使用して煙突に固定してください。



3 室内にススが舞っても室内が汚れないように、  
新聞紙、作業シート等を床に敷いたり壁に貼る等して養生します。

4 煙突掃除棒または煙突掃除器にワイヤーブラシをセットし、煙突内に挿入します。  
擦り落としたススはビニール袋に落とします。  
室内の煙突は、取り外して個別に掃除してください。



## 燃焼灰の処理

ストーブ内に残っている燃焼灰の処理方法を説明いたします。

燃焼灰がストーブ内に残っていると、燃焼灰が湿気を吸い込み、ストーブ内が錆びやすくなります。ストーブ内が錆びてしまうと、部品交換ができなくなったり、金属が劣化しやすくなります。ストーブシーズンが終わったら、ストーブ内の燃焼灰を取り除いてください。

### 使用部品・工具・道具

★ 金属製密閉容器

- 手ぼうき
- 防塵ゴーグル
- 防塵マスクまたは通常マスク
- 軍手



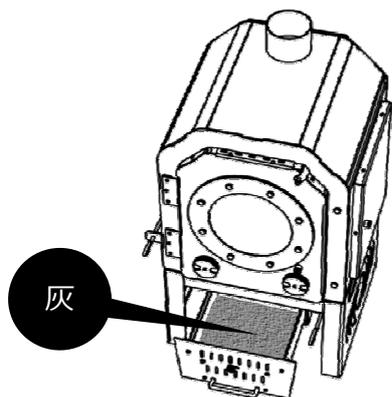
右記★印商品はホンマ製作所オンラインショッピングでお求めいただけます

<http://www.honma-seisakusyo.jp>

- 1 ストーブ炉内にある程度の燃焼灰が溜まったら、完全に冷却していることを確認した後に手ぼうき等でペレット燃焼バスケットに掃き落とします。



ストーブ炉内に残っている燃焼灰は、全ては掃き落とさず少量残してください。薪を使った場合、燃焼灰がある程度残っていると火持ちがよくなります。また、ストーブ炉内の部品を熱から保護する断熱材の役目も果たします。



ペレット燃焼バスケットから掃き落とされた燃焼灰は、灰トレイの中に落ちます。



**注意** 灰トレイから燃焼灰を移す際には、完全に冷却していることを確認してください

- 2 灰トレイから移した燃焼灰は  
フタ付き灰バケツ A01562BK(別売) 等の  
金属製密閉容器で保管してください。



**禁止** 燃焼灰は、可燃性の容器に入れしないでください  
火災の原因になります



フタ付き灰バケツ A01562BK

## 耐熱ガラスのクリーニング

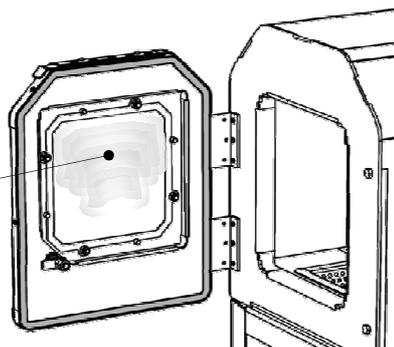
耐熱ガラスに付いた汚れは専用のガラスクリーナーで落とすことが可能です。



右記★印商品はホンマ製作所オンラインショッピングでお求めいただけます。

<http://www.honma-seisakusho.jp>

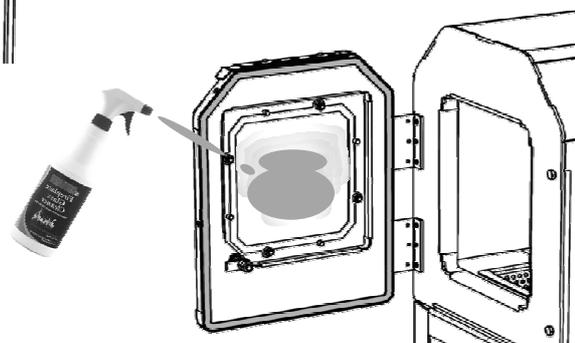
スス・タール



### 使用部品・工具・道具

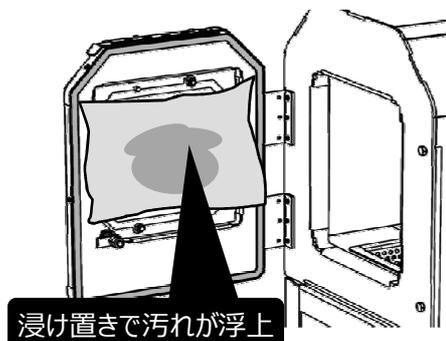
- ★ ガラスクリーナー #82
- ★ コンディショニングガラスクリーナー #84
- 布等
- ティッシュ
- ビニール手袋 や 軍手等

- 1 冷えた耐熱ガラスの汚れ部分にガラスクリーナー#82の液を吹き付けます。  
(頑固な汚れには多めに。)



- 2 ガラスクリーナー#82の液を汚れ部分全体に伸ばし、ティッシュを貼り付けます。  
そのまま5~10分浸け置きします。

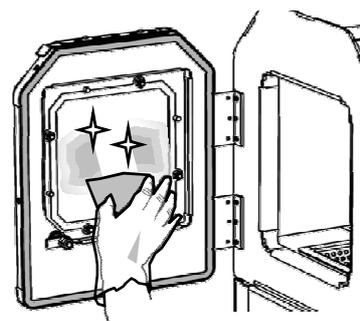
**※** ティッシュを貼り付けることで液ダレを予防でき、  
**備考** 耐熱ガラスに液がよく浸透します



- 3 手が汚れないようにビニール手袋や軍手等を装着し、布で耐熱ガラスの汚れを拭き取ります。  
浸け置き時間が短いと汚れが落ちにくい場合があります。

**!** 耐熱ガラスを擦りすぎないでください  
**注意** 耐熱ガラスが破損する原因になります

**※** より頑固な汚れには、  
**備考** コンディショニングガラスクリーナー#82をお勧めします



# 部品交換の方法

## 耐熱ガラス と ガスケットロープ の交換

ガスケットロープの劣化(硬化、切れ、繊維崩れ)や耐熱ガラスの破損が起こったら交換が必要です。耐熱ガラスが破損したままですと危険ですのでご使用を中止してください。

### 使用部品・工具・道具

★YFE-78 正面ガラス ★ガスケットロープ  $\phi 6\text{mm}, \phi 8\text{mm}$  ★耐火セメント ガスケット用 #77E  
●テープ ●スパナ ●ワイヤーブラシ ●軍手等

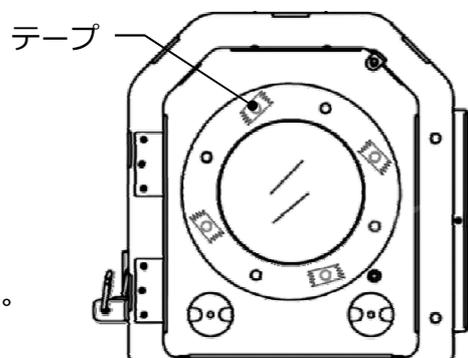


右記★印商品はホンマ製作所オンラインショッピングでお求めいただけます。

<http://www.honma-seisakusho.jp>

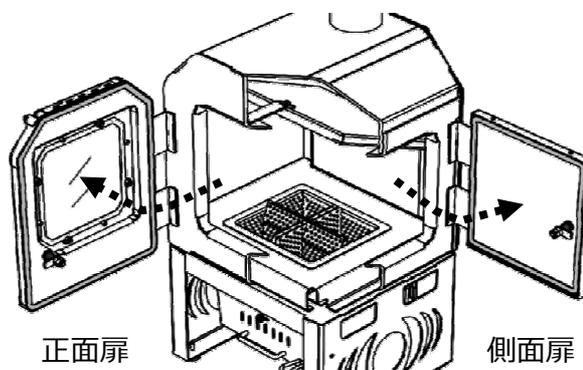
#### ★ 交換作業を行う前に …

正面扉の右図位置にテープ等を貼り付けてください。  
(交換が行いやすくなります。)

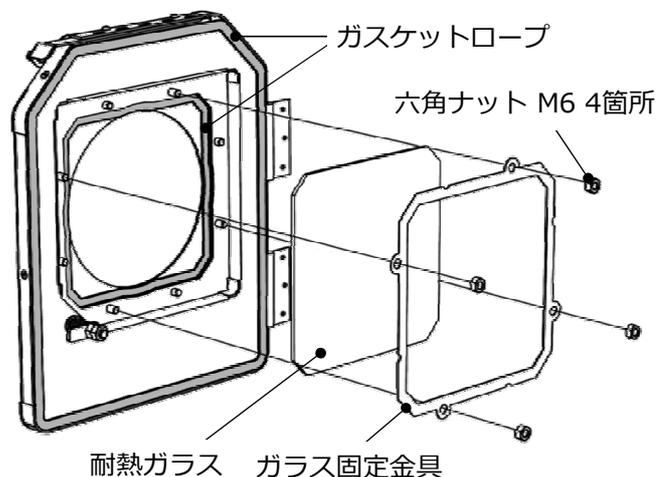


- 1 正面扉と側面扉を開き、扉の内側を確認します。

※ 交換方法が複雑な正面扉を次項より説明いたします。



- 2 スパナを使って六角ナットを緩め、ガラス固定金具と耐熱ガラスを扉から取り外します。



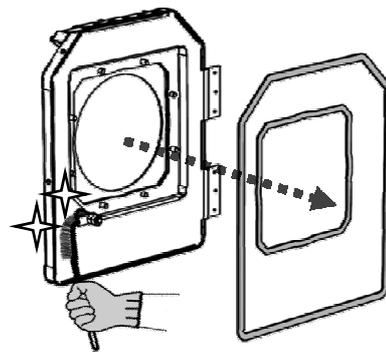
**!** ガラスの落下にご注意ください  
**注意**

**!** ガラスが破損している場合は、取り扱いにご注意ください  
**注意**

### 3 扉から古いガスケットロープを取り外します。

ガスケットロープが接着していた場所は、ワイヤーブラシで磨きます。

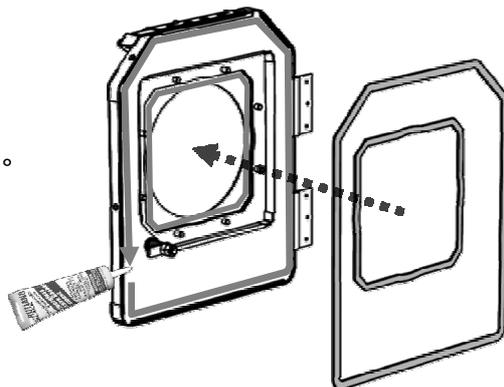
**※** 接着場所をキレイにすると、  
**備考** 新しいガスケットロープが接着しやすくなります



### 4 ガスケットロープが接着されていた場所に

耐火セメント ガスケット用 #77E を  
塗布し、新しいガスケットロープを貼り付けます。

**※** 使用されているガスケットロープ  
**備考** ●正面扉(縁) …  $\varnothing 8\text{mm}$  1.4m  
●正面扉(ガラス周り) …  $\varnothing 6\text{mm}$  0.7m  
●側面扉(縁) …  $\varnothing 8\text{mm}$  1.1m



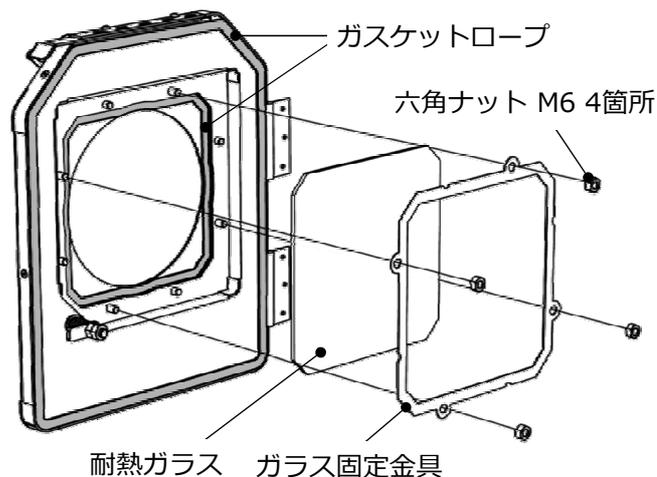
### 5 耐熱ガラスを取り付けます。

ガラスをガラス固定金具で抑え、  
六角ナットを締めていきます。

#### ⚠ 注意 - 耐熱ガラスの取付

ガラス固定金具を強く固定されると、  
耐熱ガラスが伸縮できずに亀裂が入る原因  
になります。

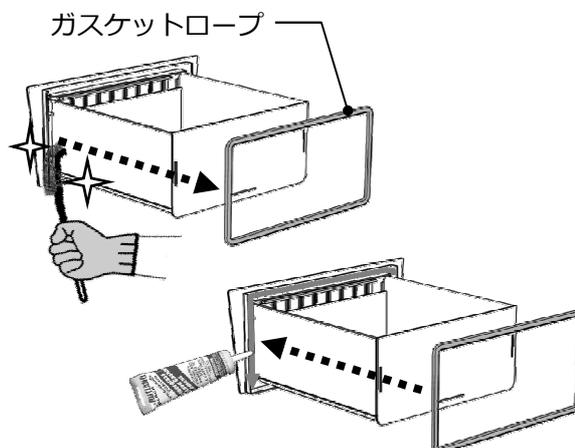
耐熱ガラスは、強く固定せず僅かに動くく  
らいの適度な力で固定してください。



### 6 灰トレイをストーブから引き出し、

古いガスケットロープを取り外します。  
正面扉と同じように交換します。

**※** 使用されているガスケットロープ  
**備考** ●灰トレイ(縁) …  $\varnothing 6\text{mm}$  0.7m



# 困ったときのQ&A（取扱い全般）

## Q 1 ストープ本体から煙が逆流する！

1. 煙突トップの周囲に壁等の障害物がないですか？

煙突を屋根上（または障害物）より高く上げ、風の影響を受けないようにしましょう。

（参考： **P.19**）

2. 煙突が詰まっていますか？

煙突内だけでなく煙突トップも確認して溜まったススをしっかり落としてください。

（参考： **P.23**）

3. 室内で換気扇（排気ファン）が作動していませんか？

室内（特に高气密の部屋）で換気扇（排気ファン）が作動していると、室内の気圧が外気圧を下回り負圧になる場合があります。負圧の室内でストーブを使用すると、「煙突から空気を吸い、室内に煙を吐く」という吸排気の逆転現象が起きてしまいます。

一時的に換気扇（排気ファン）を止めたり、少し窓や換気口を開けて様子を見てください。

常時負圧になる場合はストーブに外気吸入ユニットを取付けてください。（参考： **P.17**）

4. 強風の影響を受けていませんか？

風が強い場所では、煙突トップに風が吹き込み排煙を阻害することがあります。

逆風対策の煙突トップに変えることで改善する場合があります。お問い合わせください。

5. 煙突の横引きが長すぎませんか？

煙突の横引きが長すぎると排煙効率が大きく低下します。結果として煙が逆流する場合があります。煙突の横引きは1.5m以下になるようにしましょう。（参考： **P.19**）

6. 空気供給量を絞りすぎてはいませんか？

ペレットや薪を十分に燃焼させるには、ある程度の空気をストーブに取り込んであげる必要があります。少ない空気で燃焼させると不完全燃焼になり、ストーブの温度が上がらず煙が多く発生して逆流を起こすことがあります。

---

## Q 2 ストープから異臭がする！

新品のストーブを初焚きする際、ストーブ本体に塗られた耐熱塗料の焼ける臭いが出ます。また、うっすらと白い煙が本体から出る場合がございますが、異常ではありません。

本体温度300℃前後の高温で約1～2時間ほど燃焼しますと煙も出なくなりますので、症状がおさまるまで換気しながらご使用ください。

### Q 3 ストープが暖まらない！

#### 1. 湿ったペレットや湿った薪を燃やしていませんか？

開封したペレットはお早めにご使用ください。

薪を使う時は、薪の乾燥度が重要です。薪の乾燥が不十分な場合、よく燃えない、暖かくない、煙突にススやタールが付着しやすい等の問題が生じてしまう場合があります。

薪は、含水率が20%以下となっている状態が理想的です。

薪の含水率確認は 薪含水計 EM-4806（別売）が便利です。



薪含水計 EM-4806



薪含水計 EM-4806は

ホンマ製作所オンラインショッピングで  
お求めいただけます

<http://www.honma-seisakusyo.jp>

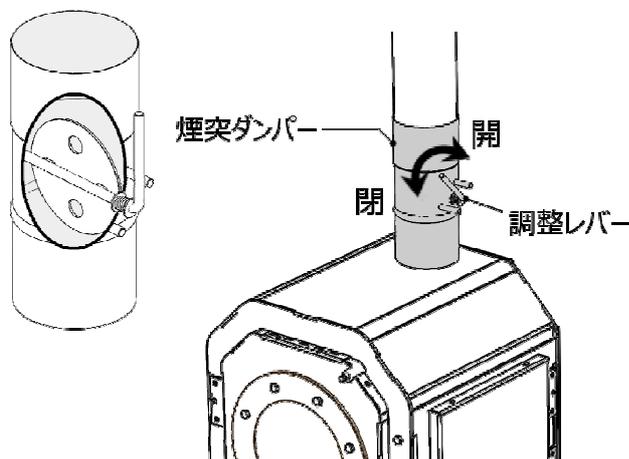
#### 2. 煙突を伸ばしすぎてはいませんか？

煙突を縦方向に伸ばせば伸ばすほど、ドラフト（上昇気流）が強くなります。

煙突のドラフト（上昇気流）は強いほうが煙がよく抜けて良いと思われがちですが、強すぎるとストーブの熱まで煙突の方へ流れて行ってしまい部屋が暖かくならなかつたりストーブの燃烧コントロールが難しくなる等問題が起こります。

煙突のドラフト力はストーブの空気調整では制御できませんので、煙突ダンパー（別売）を使用して強弱の制御を行います。

煙突を垂直に長く立ち上げている環境では、ドラフトが効きすぎている場合がほとんどです。ストーブを燃やしても暖かにならない、燃えが良くないと感じたら煙突ダンパーを付けられることをお勧めいたします。煙突ダンパーは、スチール製ダンパー(ハゼ折り煙突用)とステンレス製ダンパー(溶接煙突用)の2種類をご用意しております。



スチール製ダンパー(ハゼ折り煙突用)と  
ステンレス製ダンパー(溶接煙突用)は  
ホンマ製作所オンラインショッピングで  
お求めいただけます

<http://www.honma-seisakusyo.jp>

## Q 4 煙突内にベトベトした黒い（茶色い）液体が発生した！

これはタールと呼ばれる粘り気のある油液です。

原因は、湿った薪の使用、150℃以下での長時間燃焼、不適切なペレットや薪（脂分を多く含むマツ類等）の使用等です。屋外がシングル煙突で設置されている場合は、外気冷却によって煙が冷えてタール発生となる場合もあります。大体は複数の原因が重なって発生します。

タールは煙道火災（煙突内での火事）を起こす原因物質ですので、確認されたら早めに除去する必要があります。しかし、ススと違いタールは液状のままではワイヤーブラシで擦ってもまらず落ちません。

専用の煙突クリーナーセーフティーフルー WI-21212を用いてまずタールを硬化させてからワイヤーブラシで擦り落とす必要があります。（参考：P.23）



セーフティーフルー WI-21212



セーフティーフルーは  
ホンマ製作所オンラインショッピングで  
お求めいただけます

<http://www.honma-seisakusyo.jp>

---

## Q 5 ストープ本体に歪み、変形が起こった！

燃焼中は、温度変化によりストーブ本体に僅かな変形が発生する場合がございます。これは、材料の性質によるものでご使用に支障はございません。また、ストーブ本体が冷めると元に戻ります。

---

## Q 6 ペレットや薪はどこで入手できる？

木質ペレットや広葉樹薪は、ホームセンターやインターネット通販などで購入できます。

---

## Q 7 地震発生時の対応は？

まずは慌てずに身の安全を確保してください。揺れがおさまったらストーブの各空気調節口を閉じて消火に入ってください。消火を急ぐ場合はストーブ炉内に乾燥砂を入れて窒息状態にする方法があります。乾燥砂は必要に応じ備えておいてください。

地震後はストーブ本体の損傷や位置ずれ、煙突の接続外れ・変形・破損、壁貫通部や煙突支持金具の異常の有無等を確認し、問題ないことを確認してからご使用を再開してください。

余震が続く場合にはご使用を控えてください。

## Q 8 ペレットや薪を燃やした後に残る燃焼灰の処理は？

ペレットや薪の燃焼灰はアルカリ成分の微粒子です。畑の土壌改良剤、掃除用クレンザー、融雪剤等として幅広い用途がありますので有効活用することができます。（参考：P.13）  
灰を処分する場合は、地域の市町村窓口へお問い合わせください。  
地域によって分別方法が異なりますので、指定された処分方法に従ってください。

## Q 9 ストープの交換部品を手に入れたい時は？

ストーブ本体に使用されている消耗品・メンテナンス用品・ストーブ部品などをご用命の際には、弊社もしくはお買い上げの販売店へお問い合わせください。

<p><b>ガスケットロープ φ6mm,φ8mm</b></p> <p>ストーブ本体の気密性を高めます。 定期的な交換を推奨いたします。 ★耐熱ガラス,灰トレイ … φ6mm ★正面扉,側面扉の縁 … φ8mm</p>		<p><b>耐火セメント ガスケット用 #77E</b></p> <p>ガスケットロープの接着に使用します。取替場所に耐火セメントを適量敷き、ロープを圧着し、約1日以上放置してしっかり乾燥させてください。</p>	
<p><b>ワンタッチスプレー艶消黒</b></p> <p>ストーブ本体や煙突の再塗装が行えるつや消し黒耐熱スプレーです。ストーブ表面の汚れを落としてからご使用ください。</p>		<p><b>ストーブポリッシュ #70</b></p> <p>サビを防止する黒いペースト状のワックスです。ストーブ表面の汚れを落としてから、適量出して乾いた布巾等で磨いてください。</p>	
<p><b>ファイヤースターター #50C</b></p> <p>ロウとリサイクル木材を使用した自然にやさしい着火材です。簡単に着火し、いやなニオイもありません。</p>		<p><b>非接触型温度計 MT-7</b></p> <p>レーザー照射で温度を計測できます。バイメタル式の温度計よりも正確な温度測定が行えます。レーザー光を人に向けたり、のぞきこまないで下さい。</p>	
<p><b>革製ストーブグローブ #702</b></p> <p>手首まで保護する丈夫で耐熱性に優れた牛革仕様の手袋です。</p>		<p>こちらの商品は ホンマ製作所オンラインショッピング でもお求めいただけます <a href="http://www.honma-seisakusyo.jp">http://www.honma-seisakusyo.jp</a></p> 	

## Q 10 ストープ本体の処分方法は？

ご使用いただいたストーブを処分する際は、粗大ごみ扱いとなる場合がございますので、地域の市町村窓口、またはごみ回収業者へお問い合わせください。

# 困ったときのQ&A（ペレット使用時）

## Q 1 ペレットがうまく燃えない！

### 1. 空気供給量を絞りすぎてはいませんか？

ペレットを十分に燃焼させるには、ある程度の空気をストーブに取り込んであげる必要があります。少ない空気で燃焼させると不完全燃焼になり、ストーブの温度が上がらず煙が多く発生して逆流を起こすことがあります。

### 2. ペレットを入れすぎてはいませんか？

ペレット燃焼バスケットの中に新たにペレットを追加する時は、2区画ずつペレットを入れてください。4区画全てにペレットを入れてしまった場合、熾き火からの着火が上手くいかず燃焼不良になることがあります。

## Q 2 ガラスがすぐに曇ってしまう！

### 1. 三次空気調整ツマミを閉じていませんか？

三次空気を取り入れないと、煙に含まれるススやタールの成分が耐熱ガラスに付着しやすくなります。三次空気を取り入れることで耐熱ガラスの前に風を吹き付けられるので、耐熱ガラスが曇りづらくなります。

### 2. 樹皮が含まれたペレットを燃やしていませんか。

樹皮が含まれる木質ペレット（全木ペレット、バークペレット）を燃やされると、ペレットの原料によってはストーブ内に大量の煙が発生します。三次空気を取り入れても耐熱ガラスが曇ってしまう場合がありますので、樹皮を含まない木質ペレット（ホワイトペレット）の使用を推奨いたします。

名称	内容
◎ ホワイトペレット	樹皮を含まない木部のみを原料にしたペレット。樹皮を含まないので、燃焼時の煙と燃焼後の灰が少ない。
○ 全木ペレット	樹皮と木部を全て原料にしたペレット。ホワイトペレットに比べると、燃焼時の煙と燃焼後の灰がやや多い。
× バークペレット	樹皮のみを原料にしたペレット。燃焼時の煙と燃焼後の灰が多い。煙の量が多いので、耐熱ガラスや煙突の中が汚れやすい。

# 困ったときのQ&A（薪使用时）

## Q 1 薪がうまく燃えない！

いきなり太い薪に着火しようとしていませんか？

最初は火が付きやすく燃えやすいものから順に燃やすようにしましょう。

太い薪を燃やすのは炎が十分に大きく育ってからです。

（参考： P.9）

## Q 2 薪ストーブに適した薪、不適切な薪が分かりません

薪ストーブに適切・不適切な薪の一例は下記表の通りです。ご参考ください。

基本的に焚き付けは軽く燃えやすい樹種。乾燥薪はずっしり重い広葉樹が向いています。

用途	樹種
○ 焚き付け	スギ、ヒノキ、コウヤマキ、クロベ、アスナロ、オニグルミ等
○ 乾燥薪 ※ 2年乾燥推奨	コナラ、クヌギ、アカガシ、シラガシ、イチイガシ、ヤマザクラ、クスノキ、タブノキ、イスノキ、イヌエンジュ、イタヤカエデ、トチノキ、ケヤキ、ブナ、ヤマグワ、マカンバ、アサダ等の広葉樹
× 不適切	・ クロマツ、カラマツ等の脂分（ヤニ）を多く含むもの ・ 塩分、硫黄分を多く含むもの （果樹類は硫黄消毒されている場合がありますので要注意）

薪の種類だけでなく薪の乾燥度も重要です。薪の乾燥が不十分な場合、よく燃えない、暖かくない、煙突にススやタールが付着しやすい等の問題が生じてしまう場合があります。

薪は、含水率が20%以下となっている状態が理想的です。

ストーブで薪を燃やされる前に 薪含水計 EM-4806（別売） を使用して薪の含水率を確認することをお勧めします。



薪含水計 EM-4806



薪含水計 EM-4806は

ホンマ製作所オンラインショッピングで

お求めいただけます

<http://www.honma-seisakusyo.jp>

【製造販売元】



〒950-1237 新潟県新潟市南区北田中 8 0 1 番地 8  
【TEL】 025-362-1235 【FAX】 025-362-1238  
【Eメール】 support@honma-seisakusyo.co.jp  
【WEB】 <http://www.honma-seisakusyo.co.jp>

**【お問い合わせ受付時間】 9:00～17:00**  
( 弊社休業日は休ませていただきます )

※ 製品の仕様及び取扱説明書の内容は予告なく変更になる場合がございます。  
※ 行き届いた品質管理を行っておりますが、  
お気付きの点がございましたら弊社までご連絡ください。